

## 88. 前論文 76 の修正ヲ述ブ

南雲道夫(阪大)

私ノ「距離空間ニ於ケル曲線ノ長さ及ビ強半連続曲線函  
數ニ就テ」ノ内ニ誤リガアルノニ氣付キマシメカラ訂正シテ  
オキマス。

§2. 2) = 於テ  $\{C\}$  = 關スル第四ノ條件(iv)ハ次ノ  
様ニ改メマス。

(iv)  $\delta$ ヲ任意ノ正ノ數トスル時  $C_0$  = 對シ,  $C_0$ ヲバ $\delta$   
近傍内ニ含ム様ナ  $C'$ ガ  $\{C\}$ ニ存在シ, 且ツ  $F[C'] \leq M$   
( $M$ ガ $\delta$ =無關係)ナル $M$ ガ存在スレバ,  $C_0$ ハ  $\{C\}$ ニ屬ス  
ル。

此,  $F[C'] \leq M$ ナル假定ガナイ時ニハ,  $F[C_0] = +\infty$   
トナツテ,  $F[C] =$ 有限確定トナラナクナル場合ガ生ジマス。

次ニ §2. 3) = 於テ  $g(P, Q)$  = 關スル第四ノ性質(4)  
ハ一般ニ昇シテ成立スルカドゥカハ解リマセン。  $F[C]$ ガ特  
ニ曲線ノ長さ  $L[C] =$ 等シイトキニハ成立スルコトガ(最短  
曲線ノ存在ニヨツテ)証明出來マス。(但シ  $R$ ガ Kompaktニ  
時ニ)此ノ問題ハ皆様ノ御助力ヲ希望致シマス。

§2. 4) = 於ケル証明ノ後半ハ次ノ様ニ改メマス。

$g(P_{\nu-1}, P_{\nu})$  の定義カラ

$$g(P_{\nu-1}, P_{\nu}) + \frac{\varepsilon}{n} > F[C'_{P_{\nu-1}, P_{\nu}}]$$

ナレ  $C'_{P_{\nu-1}, P_{\nu}}$  が存在スル。

$$\text{故} = C'_{P_0, P_1} + \dots + C'_{P_{n-1}, P_n} = C'_n$$

トオケバ、

$$\Gamma[C] \geq \sum g(P_{\nu-1}, P_{\nu}) = \varepsilon$$

$$\Gamma[C] + \varepsilon > F[C'_n]$$

所ガ  $F[C]$  が下 = 強半連続ガカラ  $P_{\nu}$  ヲ  $C$  上 = 充分細カクト  
レバ

$$F[C'_n] > F[C] - \varepsilon.$$

$$\text{故} = \Gamma[C] > F[C] - 2\varepsilon$$

$$\text{従ツテ} \quad \Gamma[C] \geq F[C]. \quad (\text{之カラ} \Gamma[C] = F[C].)$$

§2. 6) デハ  $\mathcal{R}$  が *Kompakt* ナル假定ヲ書クコトヲ志  
レマシタ、此ノ証明ハ少シ略シスギタカモ知レマセンカラ、  
ソノツモリデ御覽下サイ。終リノ所、 $\lim g(P, Q) = 0$  ナ  
ラバ  $\rho(P, Q) = 0$  ハ;  $g(P, Q)$  が限リナク小サクナレバ  
必ズ  $\rho(P, Q)$  モ限リナク小サクナル意味デス。  $\lim \rho(P, Q) = 0$   
トセネバナリマセン。何卒此ノ方向 = モ皆様ノ御助力ヲ切  
望致シマス。

—— 以上 ——